

## 第 13 回 信濃町地域公共交通協議会会議事録

平成 24 年 8 月 27 日 午前 9 時 30 分より  
信濃町役場第 1.2 会議室

出席者 別紙 27 名

### 1. 開会

事務局 本日はお忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。それではさっそくですが第 14 回信濃町地域公共交通協議会を開催いたします。

### 2. 議事

事務局 議事に入りますが進行につきましては、佐藤会長からお願いします。

会 長 さっそくですが議事に入ります。  
それでは、議事の（1）新路線によるバス停位置および時刻について事務局より説明願います。

事務局 —（1）新路線によるバス停位置および時刻について資料に基づき説明—

会 長 ただ今事務局から説明のありました内容を、もう一度申し上げますと、熊坂野尻線で六月の停留所が外れ、新たに大平が追加された事と、高沢・黒姫高原線が、前回承認されたように 2 路線に分割された事と、路線変更によりダイヤが変更になった事と、デマンド時刻の変更により、要望の多かった 11：30 分と 14：00 の間に 1 便追加された事が主な変更点かと思われま

この内容について、ご意見等ございましたらお願いします。

— 意見なし —

会 長 それでは、今の路線変更、時刻変更につきまして承認いただける方は挙手願います。

— 全員挙手 —

会 長 ありがとうございます。  
それでは次に進めさせていただきます、（2）運行ルールの一部変更について事務局より説明願います。

事務局 —（2）運行ルールの一部変更について資料に基づき説明—

会 長 ありがとうございます。

多々ありますが、運用の運行ルールにつきまして、資料の 2-1～2-3 につきまして、赤字になっている所が変更点になります。

この変更点についてご意見等ございましたらお願いします。

事務局

補足説明を付け加えさせていただきます。

運行ルールにつきましては、かなり住民のみなさんや利用者の方からご要望頂きまして、ルールそのものが何でもいいと言う事はございませんので、ルールは決めさせていただきます。

ただし、柔軟に対応できるように運転手と相談する中で、ルールを決めさせて頂いた次第でございます。

皆様に審議頂きたい内容は、町内へ通勤通学する方も利用可能にするかと言う部分と、国道線の料金ですが、季節運行になりますが観光バスが 1 乗車 500 円で運行していますが、似た路線を運行する国道線があります。

この国道線は 1 乗車 200 円のため、片方は 500 円、片方は 200 円では説明できない部分がございます。

よって、料金を 500 円に統一し、ただし、住民の方につきましては 200 円で乗車できるよう、非常にいくつかルールが出来てしまい具合の悪い部分もあるんですが、そういう形態で当面の間は運行をしたいと考えています。

この点についてご審議頂きたいと考えています。

会 長

それでは、運行ルール部分と、料金部分を別々に審議し、最初に、運行ルール部分についてご意見等ございましたらお願いします。

教育次長

先ほどの説明の中で、以前の会議で、総合会館を中心市街地に加えていただきたいとお願いいたしましたが、資料中の⑥総合体育館とは違うものですか。

事務局

資料 2-1 の 2 ページ目に記載のあります (5) 乗降ポイントについての質問かと思われませんが、総合会館含め各支館をその他施設として記載してございます。

事務局

現在も柔軟には対応しており、総合会館と明記した場合、古間支館や富士里支館も行ってほしいとなった場合、見境がなくなってしまうため、その他町内施設と記載させていただきました。一応柔軟には対応していることはご理解ください。

教育長

総合会館は中心市街地に近いので、それ以外の野尻、古間、富士里は中心市街地から外れているから、その他扱いでいいと思うんですが、③番について町内の歯科が柏原地区に入っていて、認められるのであれば、中心市街地には総合会館しかないんで、総合会館を入れても全然問題ないかと思われるんで、それ以外の支館は⑥番の扱いでいいんじゃないか。

会 長

今の教育長の意見は、町内歯科医院が入っているのであれば、そばにある総合会

館も中心市街地に入っているため入れてほしいとの事ですけども、事務局的には対応できますので、まず個々に入れさせていただいても良いでしょうか。

— 全員賛成 —

会 長 ありがとうございます。あと、全体を通じてご質問等ありましたらお願いします。

— 意見なし —

会 長 それでは、最初の通勤通学者と、中心市街地に総合会館を加えたこと、⑥以降、赤い字のところ、全て今までのものプラス柔軟にとの事で、係長から説明がありました通り、3つの資料をですねご審議頂き、承認いただける方は挙手願います。

— 全員賛成 —

会 長 ありがとうございます。それで、一番価格的な問題で残ってしまうところが、先ほどの国道線の、一般客と住民との区分けですね。

500円と200円に関しまして、意見を頂ければと思います。

産業観光課長 産業観光課長の佐藤でございます。

今、200円の区間を500円に値上げするってことですよね。

住民は200円。ただ、観光客の方が乗ったらこの町に大変不信感を抱くと思うんですね。観光客は500円、住民は200円。

この観光路線と言うのは、7月の海の日から、来月の半ばごろまで季節で動くものでございます。

前回の、産業観光課サイドでこの場でお願いして、200円でぜひお願いしたいって話だったんですが、タクシー会社さんの方で、タクシー会社の存続にかかわるから、ぜひとも500円だとの事で、500円になったわけですが、そうは言っても、大変な不信感、200円のを、500円に上げるのは住民福祉の大変な後退であると思う訳です。

これは、今日、タクシー会社さんがいらっしゃらないので、変更することはできませんが、あっ、いらっしゃる、大変失礼いたしました。

むしろ、500円を200円に変えて頂くっていうのが正解じゃないかと思う訳でございますけれども、前回のですね、正直言って私、前回200円をお願いしたときも、事務局が正直言って時刻表が分かっていたわけですよ。

国道線がダブっているって話も、正直言って200円でライジング気味で陸運局へ申請されていた訳でございますけれども、当然分かっていた訳でございます。

そんな中で、意見もなく200円が500円に決まった訳ですけども、再度お願い

するのは、冬期間、来年度以降、是非観光バスを 200 円をお願いしたいと言うのが私の意見です。

信濃町を訪れる大事な観光客を、信濃町って 2 重基準の町だと思われたいのために、是非 500 円を 200 円に変えてもらう事をお願いします。

会 長 今、産業観光課長から頂いたのは、この国道線に関しては据え置きで、観光バスを 200 円に変更するとの事ですが、季節運行の観光バスについては、今日の議題には載っておりません。

産業観光課長 それでは 200 円に据え置くと言う事で。

会 長 国道線をですね。

産業観光課長 はい。

会 長 一応今日の議案の中で、産業観光課長から、一般、住民を区別する事無く、まあ観光客って意味ですけど、住民福祉っていう意味では、先ほどこちらでも申し上げたように、200 円に据え置いていますので、あくまでもここは観光客については 200 円のままとのご意見を頂きましたが、皆さんの方ではいかがでしょうか。

富士里区長 前回の会議の中で、500 円と言う事で私も発現させていただきました。

それで後で考えてみたんですけど、まあ、今言われるように、観光客の皆さんと、前回の会議では大平の総代さんも来ていらっしやっただんで、例えば、黒姫から野尻までの分は 500 円でも、大平から黒姫駅に行くのは 500 円はちょっと如何なものかなと後で考えて気が付いて、ですから、無償でね住民に対して申請頂いて、300 円券を発行していただいて、300 円券と 200 円を払って降りれば、観光客の方と、地元の方が一緒に、2 重と言うふうな誤解をまねかねないかと、あとで考えたわけです。

ですから、今回議題になっています、この国道線の 500 円の問題につきましても、地元の皆さんには、まああの、飯綱病院とかに行かれる方は限られているんじゃないかと思う訳ですけども、必要な方は役場へ申請してもらって、5 枚とか 10 枚とか、その度申請していただいて、無償で 300 円券を発行して、300 円券と 200 円に乗れば、観光客に不信を抱かれずに済むんじゃないかと考えております。

会 長 ありがとうございます。  
事務局の方で発行できますか。

事務局係長

今の富士里区長さんの意見は良い意見だと思うんで、私も一番は差をつけた時に不信を抱かれる部分があるんですよ。

当初国道線は生活路線として動かしてたんですが、後追いで観光客用のバスが動きました。

観光客用にバスを出した時に 500 円を頂いて動かしたので、駅への接続等したときに、どうしてもダブる時間帯が発生してまいります。

それで時間がダブると、片方は 500 円、2～3 分差で出てくるバスは 200 円となり、それで苦情を受け苦しんでいた部分があります。

それで、今出た 300 円券については施策の問題になるので、現時点では判断を保留させていただきます。

こちらで悩んでいるのが、また 12 月から観光バスが動きます。

その際、片方は 200 円で片方が 500 円になり、この 500 円はタクシー会社さんのご意見もございまして、バランス的な問題もあるので、いいんですが、そうした場合、一番の不信感は 300 円の差が心配なため、統一した方が良いのではないかと、言う事で議題に上げさせていただきました。

なお、頂きました 300 円券については施策の問題や負担の出処をどうするか等検討しなければいけないので判断を保留させていただきます。

富士里区長

今の事務局係長の話では、300 円は町で負担するってことですか？

私は、無償でね、それでは長電バスには迷惑が掛かりますが、無償で出来ないですかね？

町では、それをやるなら 300 円分を町が補てんするってことですか。

事務局係長

町で考えていたのが、住民の方をどうやって 200 円にするのかは、例えば、私は山桑に住んでますと降車の際自己申告をしていただければ 200 円にする方法を考えていたんですが、いわゆる口頭の申告だけとと思っていました。

長電さんが負担できるかは保留させていただきます。

長電バス(株)

お世話様です。長電バスでございます。

運行する側で、当然一般の方と、住民の方とお乗りになられると。

今ほど、300 円の補助券を申告によってお出ししたらどうかと言う話と、そうなると、その使用期限が切れると再度申告が必要になり、煩雑になるのではないかと考えます。

そう結う事から、逆に証明書的な、定期券の発想ですが、証明書の様な何かを出していただいて、それを運転手に見せていただいて 200 円を支払ってもらい、一般の方と、住民の方との見分けが出来るようにしていただけないかなと、考えておりました。

ただ、持ってこなかった、忘れちゃったとなれば、ルールから言えば 500 円をいただく事になるかなと思っています。

そうでない場合は、何か言って、この人は 200 円、この人は 500 円となると 500 円を支払った人は不信感を抱くかと思われまますので、何か証明書的なものを見せて 200 円にするのはどうかと意見を言わせていただきました。

会 長 今、ご意見を頂きまして、料金に関しまして、信義を図り方向性を出さないといけないため、現時点では、現行通りの運用をし、将来的には 2 段構えにする、また、2 段構えにした場合は、何らしかの証明書を出す等色々な方法があると思われまますが、今、審議を図りたいのは、現行通りの料金設定で、観光バスと 2 段構えでも致し方ないと言うのが一つあると思います。

もう一つは、事務局案の観光客 500 円、住民 200 円、区分けの仕方はまた考えなければいけません、現状ではまずこの 2 案かと考えられます。

これ以外にご意見等ございますでしょうか。

商工会長 先ほど、事務局から料金形態で苦情があったと言ってましたが、これは、住民からの苦情でしょうか、もしくは、観光客からの苦情でしょうか。

事務局 こちらの料金については観光客からの苦情になります。

商工会長 住民の方が乗った場合、500 円について意見はありましたか。

事務局 住民の方につきましては、この時間帯はデマンド運行時間になります。その為、この時間帯であればデマンドを利用されている方が多いため、住民の方から、この観光路線の 500 円についての意見は、現時点で事務局ではお聞きしていません。

老人クラブ会長 その話ですが、私もですね誰かにちょっと聞きましたね。500 円と 200 円を出して乗った人ってのを聞きました。それから、重複して 2 重になっているんだから証明書かなんか出してもらってすればいいんじゃないですか。

また、デマンドの関係も、うちの方は今回みたいに大雪の時がありますので、デマンドの予約が沢山キャンセルされると、動きたい人も動けなくなってしまうのでそう結う部分についても事務局で考えてもらっていただければと思います。

会 長 それでは事務局の方で証明書を発行できるかお願いします。

事務局 証明書をすぐに発行できるかは、大変申し訳ございませんが即答できませんのでご理解をお願いします。

会 長           では、ここで審議を図らせていただきますが、現行のままでよろしいのではないか、これは1年間通してみてもとなりますが、それと、国道線に関して、500円の設定にし、住民に対しては何らかの補助券や証明書を発行していくと言うやり方の2案になるんですが、現行通りで良いのではないかと言う方は挙手願います。

— 賛成少数 —

会 長           それでは、500円に設定し、住民は200円の設定にする案について、賛成できる方は挙手願います。

— 賛成少数 —

会 長           どちらも賛成少数で、答えが出ません。  
今どちらかと決めかねている状況ですので、代替案として、今、現行のまま運行し、次の観光路線が動く12月前に協議会を開催し、それまでにデータを収集し、それによってもう一度検討させていただくと言う案でいかがでしょうか。

— 全員承認 —

会 長           それではいったん進めさせていただきます。

産業観光課長   私の言った500円を200円にするのも一案じゃないでしょうか。

事務局           観光路線については、この協議会発足後の審議の中で、観光客対応は別に考えるとの方向性が出ています。  
観光路線につきましては、料金を徴収するには陸運局の許可が必要になります。また、陸運局の許可が下りるには半年近く期間が必要になります。  
ただし、協議会で審議承認された路線であれば1か月で承認がいただけます。その為、7月から観光路線を動かし料金を徴収するには協議会で審議するしか方法がありませんでした。  
その為、協議会で審議を行いました。

産業観光課長   その中で500円に決まった訳で、200円であれば何の問題も無い訳ですよ。だから500円が200円になる様に決めなおしてもらえれば。

会 長            今の産業観光課長がおっしゃることも次回の協議会までに観光客からの苦情等のデータもとりまして、本来であればこの場は地域公共の場ではありますが、前回の中で協議して値段も決めた経緯もありますので、そこでタクシー事業者さんの意見も聞きながら協議したいと考えます。

野尻湖タクシー    今のこの協議会の中に、突然この議題を入れられてしまったので、協議しますってことですよ。

であれば、それは撤廃しちゃって、産業観光課が主体になってもっと真剣にやられてはどうですか。

申し訳ないですけど、今回の問題にしても、当初はまるっきり無かった訳じゃないですか。

観光シャトルバスを出すっていう話は、当初は無かった話ですよ。

それをやりたいって持ち込んでこられたのは誰なんですか？

この協議会で審議していただきたいって持ち込んだのは誰なんですか？

事務局            許認可を頂けなければ、ゴールデンウィークの様に又、無料シャトルの運行になってしまいます。

そのため、前回の協議会で、この路線を審議頂きました。

野尻湖タクシー    そうではなく、この観光路線を持ち込んだのは誰ですか？

それでは、このシャトルをやるにあたって町が協議しなくても、例えば課が町のためにやるんだからいいでしょって事で、やろうと思えば出来ちゃうってことですか？

事務局            許認可だけの判断であれば、運行可能です。

野尻湖タクシー    それでは、町として色々な所で言い出して、始めちゃったらこの町として成り立つんですか？

確かにこの町は観光地です。私たちもそれでご飯を食べています。

観光客は大事だと思っています。観光客をないがしろにしてまで自分たちが生き残るのはまず無理だし、やろうとは思っていません。

ただ、どうも今もこのやり方がおかしいような気がして、今日は言いたくなかったんですけど、さっき産業観光課長がですね、タクシー会社が今日いないからって言っていましたよね。

それと、この間の協議会の中で、議論もないまま決定されちゃったからもう一回見直してくれと言う言い方をされましたよね。

そうすると、この協議会は何んなのかと言う事と、申し訳ないですけど、確かに私も色々聞くんですけど、外から 500 円高いよねとか聞いた中で、それはタクシー業界から反対が出たから 500 円になったと言う事が外に出て言われているんで



すよね。

それでは、この協議会で協議して、議論して、審議を囚って、協議会の決定事項として始まったことが、そうゆうクレームが来たときには、個人攻撃になっちゃう訳ですか？

せっかくの協議会の中で一生懸命議論している中で、それが何かが出始めると個人攻撃みたいになっちゃうんじゃないかと、協議会として協議会が決めたことだからしっかりやってもらわないと何もうまくいかないんじゃないかと思うんですよね。

とにかく、どこの課とも喧嘩したいわけではないですし、うまくやっていきたいんですが、であれば、もっとそこの所を、観光客に対してはどうなんだと言う部分を、産業観光課はこうだと言う方針をだし、こうゆう事を行って集客に努めているよ、うまい活性化をさせているよ、だからお客さんが増えるからこうゆう形で運行をしようと言う話なら理解できます。

そうゆう形が見えずに、来てるお客さんの取り合いになっちゃうてるから、自分たちは自分たちの死活問題になるので、こうしてほしいと言ったわけであって、町が観光行政としてこうゆうふうにしますと、はっきり意見を言って、それに伴いこうゆう形で運行しますと言う事であれば、こんな風にもめることは無いと思います。

以上です。

#### 産業観光課

先ほど、私から鳥居川タクシーさんが欠席しているのしか見えなくて、野尻湖タクシーさんが欠席している発言をして申し訳ありません。

その中でですね、産業観光課は何も努力してないじゃないかとおっしゃっていますが、観光っていうのは広域観光の時代でございます。

飯山市に新幹線の駅が出来て、9市町村が中心になってやっている、さらに、長野市を中心に広域観光、さらに妙高市まで含めた中で広域観光、いろんなものを行っています。

要するに、今、観光は信濃町だけじゃダメなんですよね。

広域観光が生き残っていく道なんです。そんな中で、信越線の黒姫駅は大事な駅な訳でございます。

この、公共交通システムに最初観光が入っていなかった、それに対する配慮が無かった、そんな訳でですね、黒姫駅におつきになった観光客の皆様から、バスが無い、こんな町、こんな駅、日本中探してもどこにもない。

確かにその通りです。電車がついて、目的地に行こうとしたらバスが無い、そんな中で急ぎよ、連休の時にバスを運行して、夏の7月から来月10日まで運行し、さらに冬期間、年末年始等にスキー客に運行していきたい、そんな中で観光を考えています。

何もしてないじゃないかとはそれは心外です。一生懸命やっている訳でございます。

そんな中でですね、先ほど言った議論が無いままにと言うのは、住民の利便を考え、観光客の利便を考えれば、バスが重なるのは当たり前なんです。

電車で着いた方が、住民を運ぶのも当然そうですし、電車に乗って観光客がお見えになってバスが、野尻湖、黒姫高原に走るバスが、重複して走る、最初から分かり切っている事です。

もっと言えば、このあいだ私が議論が少なかったっていうのは、そうゆう事が分かった事務局が、重なりますよって言えばあの時何人かの方は賛成してくれたはずです。

間違って 500 円のバスに乗ってしまう危険がある、本来 200 円であるバス、それは分かっていたはずです。事務局では。

私は言っている議論が足りなかったっていうのはそこです。

持っている情報みんな出してもらえばもっと色んな議論があったはずですよ。

そうゆう中でこの場で決まった、先ほどもっと詳しく説明すればよかった訳ですが、そんなこんなの中でもう一度考えてもいいんじゃないかとそういう意味で申したわけです。

以上です。

会 長 ありがとうございます。

商工会長 今の時点で、私、町の長期振興計画を一回読み直してみたわけですけども、その中で、大枠の中で、デマンドを含め新たな地域交通網の、観光と住民と両方の言葉で大枠の中で紋々を書いてあるわけです。

ところが、細かく分けたところでは、観光という文字かぬけておまして、地域住民の交通網を作ると言う文章になっていて、ちょっとおかしいんじゃないかなと感じたところもあった訳です。

その辺も含め、その点が行政ミスではないかと思い発現させていただきました。

会 長 商工会長の厳しいお言葉も分かりました。

今ここで、前回の協議会での黒姫行きの観光バスの 500 円につきましては、先ほど産業観光課長からも説明がありましたように、5 月の連休で急きょ観光課でバスを動かしたところ、各方面から苦情を頂いたのは私も聞いています。

それを、やはり、交通網と言うものは、当町については観光で成り立っている面も多々ありますので、含めてと言う事も考えて、前回の協議会で図るという事を私も許したつもりがあります。

そこで、いったん 500 円でタクシー会社さんの意見もありましたし、皆さんの議論は十分したと考えております。

それで決まった 500 円はそのまま今までやってきたつもりですし、先ほど、産業観光課長からそれはまた見直してはと言う事で意見を頂きました。

それは今日ここで見直すつもりはありません。それは、次回の協議会に将来に向けてと言う事項で協議する方向で考えればいいと思います。

でなければ、いつまでたっても、あまり感情論になってもしょうがないと考えま

すし、最後、商工会長から頂いた言葉は考えてみなければいけないと思います。

次回は、協議会を開かせていただきますけれども、特に感情的にならないで、皆さん業者さんの方は商売をやってらっしゃるので必死になるのは十分わかります。

バス会社さん、タクシー会社さんそこに、地区代表の方々が多数いらっしゃいますので、喧嘩の無い様な会議にしたいと考えています。

よって今回は、現行のまま運行を開始します。

それでは次の議事に入らせていただきます。

議事の③その他について説明願います。

事務局 — 4月スタートのデマンドの利用率について並びに、信越線利用促進キャンペーンについて報告 —

※4月 535名、5月 586名、6月 619人、7月 639人と報告

会 長 その他に入ってしまう恐縮ではございますが、国土交通省の方のご意見を頂戴したいと思います。

国土交通省 お世話になっております。

今まで議論をお聞きしながら、ちょっと感じたことをお話しさせていただければと思います。

まず利用者の数は口頭で頂きましたが、利用者数が伸び大変喜ばしいことかなあと思っています。

この数字は1回乗って一人ですか？

事務局 その通りです。

国土交通省 それでは往復で利用される方が多いのでしょうか？

事務局 その通りです。

国土交通省 そうすると、500から600の数字を頂きましたが、÷2と言うのが実利用者数になるのかなと思います。

利用実績につきまして、みなさん議論するベースの数字になりますので、出来れば詳細のデータをお願いします。

また、信越線の利用促進キャンペーンと言う事で、2万人ぐらい乗せないと目標に達しないのかなあと思うんですが、これにしても、ただ、みんなで乗ろうね乗ろうねって言って、チラシを入れても、チラシが入ってきたねで終わってしまうと思うんですね。

これも1年、ひと月、1日、何人乗せなきゃいけないのか、自分たちが考えて使わなきゃいけないんだなって思えるような、もう少し身近な自分自身の目標として、落とせるような資料作りだとか説明会だとか、ただ年間2万人では、他人事で終わってしまうのかなと言うのがありますので、われらの地域で必ず一人乗ってくれって言えるような、身近な自分の問題として捉えられるような数字を見せてもらうと違うのかなと思います。

それで、最後に、500円か200円かとの話ですけれども、地域で考えていただく事と言うのが大前提になりますが、この協議会の規約についてちょっと把握していないのですが、作業部会等、協議会に上げる前に議論をしつくしてもらうようなそういう規約があれば議論をそういうところで、基礎となる数字、状況の把握、そういう事で揉んでいただくのも手かなと思います。

この場でって何時何分に来てくださいで集まった皆さんに急に町の総合計画がどうなっているなんて話をされてもなかなか困っちゃうのかなって気がします。

もし、許されるのであれば、関係者で交友数字があって、こういう状況であってと言うのを出し合ってもらい、時間を気にせず議論をしつくすと言うのもありなのではないかと感じています。

皆さん町をどう良くしようかと言うのが最終目標ですから、その最終目標を忘れずに意見を述べていただければいいので、最終目標を忘れず一致団結していただければ、皆さんの心意気が町民の皆さんに通じるのではないかと感じています。

以上です。

会 長

議事中にもかかわらずご意見を頂き大変ありがとうございました。  
それでは以上で議事を終了させていただきます。

古間区長

すいません。その他で発言して良いでしょうか。

事務局をお願いなんです、委員と言うのは区長の方もいますが、任期が決まっております。その為、急に区長が変わってこの場に出てきても分からないと言うのが本音です。私も最初から出ている訳ではないので、出来れば今までの経緯と言うのをまとめといていただければと、例えば、この会議でこんな議論をしたよとか詳しくは知りませんが、私も任期がそのうち終わりますから、引継ぎして出てきても分からないと思うんですよ。

それで事務局の方はずっとやられているので分かると思うんですが、より良くするにはそういう事も必要かなと思いますのでお願いします。

長電バス労働組合

大変申し訳ございませんが1点お願いいたします。

冬季に向けて運行するに当たり、冬期間、黒姫駅にバスが集中したり、一般の車が入りますと黒姫駅のスペースが少なくなってしまうと言う意見を頂いていますので、今の段階から除排雪についてお願いを致します。

建設水道課長           ただ今のお話ですが、県道の関係になりますので、県と調整する中で出来るだけご迷惑をおかけしないように致します。

会 長                   その他にご意見ございますでしょうか。

教育長                   先ほど国道線の話については次回しっかり出させていただくとの事ですが、今、事務局の方が実際国道線を利用するのは観光客の方で、住民はデマンドを主に使っているとの話があったんですが、その辺の今までのデータがあったら、例えば国道線の利用で、時間帯は無くとも、まあ黒姫高原に行く以外は、飯綱病院へのコースだから透析とかの人が行かれるのかと思うんですけど、そういう方はデマンドは使えないわけですね。

事務局                   デマンドで飯綱病院へはいけません。

教育長                   その辺のデータは？

事務局                   国道線ですが8月の利用は月80名程度の利用です。

教育長                   町内、町外は分からない？

事務局                   ドライバーの方が町内者、町外者を判断することは非常に難しいわけですが、話では黒姫高原方面へ向かうのは、概ね観光客ではないかとの事です。

ただ、施策的な話になるのですが、国道線について見直そうと考えたのですが、現在透析で利用されている方がいらっしゃいます。

例えばですね、別の物、デマンドにするのが良いのか、福祉タクシー見たいので運行している市町村もありますので、そういう形態が良いのか、そこについては、様子を見る中で考えたいと思います。

会 長                   その他にごございますでしょうか。

— 意見なし —

会 長                   それでは議事を終了いたします。

### 3.閉会

事務局                   大変長時間にわたりありがとうございました。次回また秋に協議会を開催予定ですが、その際はよろしく願いいたします。

以上で終了いたします。

閉会 午前 11 時 30 分